

平成 28 年度 施策評価表

施策 (章)	第 4 章『教育・文化・スポーツ』
-----------	-------------------

まちづくりの目標	教育の充実、文化・スポーツの活性化で 所沢の魅力を高めます				
分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、第4次所沢市生涯学習推進計画、所沢市いじめ防止基本方針、所沢市図書館ビジョン、第2次所沢市子どもの読書活動推進計画、所沢市スポーツ推進計画				
予算額	平成28年度当初予算	98,950 百万円中	11,271 百万円	構成率	11.4 %

基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針

- ◆ 生涯学習の推進
- ◆ 地域とともに歩む学校づくり
- ◆ 確かな学力と健やかな心身を育む学校教育の充実
- ◆ 青少年の健全育成と子ども・若者支援の充実
- ◆ 学校施設の耐震化

基本構想で掲げた《市の課題・方向性》への取り組み状況に対する振り返り

- 計画的に施設等の整備を実施するとともに生涯学習情報や各種学習機会を提供し生涯学習環境の充実を図った。
- 教育現場への人的支援については、学習支援員、特別支援教育支援員などのほか、平成27年度から新たに学力向上支援講師8人を小中学校へ配置し、個に応じた指導の充実を図った。また、児童生徒の学力向上に向けて、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを推進した。
- 児童生徒が健康に学校生活を過ごせるよう、喫煙、飲酒、薬物乱用防止等の保健学習を家庭・地域と連携しながら行った。
- 青少年の非行防止・不登校・ひきこもり等について、青少年問題協議会等を通じて関係団体・機関と情報共有に努めた。
- 図書館の資料情報の充実を図り、機能の拡充と読書活動の振興を図った。
- 災害時における児童生徒等のための応急避難場所となる屋内運動場や柔剣道場について、小中学校3校の天井落下防止対策を行った。

基本構想で掲げた《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》の実行にあたって、特に力を入れていくこと。

- 市立小中学校・幼稚園で創意工夫を凝らした教育活動が展開できるよう、特色ある学校・園づくりの充実を図る。
- 様々な年齢層の市民が、世代を超えて読書の素晴らしさを共有できるよう、読書活動を積極的に進めていく。
- 児童生徒が健康に学校生活を過ごせるよう、健康診断事業、早寝・早起き・朝ごはんの推進、性教育・喫煙、飲酒、薬物乱用防止等の保健学習を継続して実施する。
- 「学校トイレ改修事業」における工事を小中学校7校、設計を小中学校4校で行うとともに、屋内運動場バスケットゴールの落下防止対策として、小学校11校で工事を行うなど学校環境及び安全性の向上のための整備を進める。また防音校舎改修事業として、狭山ヶ丘中学校・北中小学校にて復温・除湿工事を進める。
- 体育施設の整備・充実を図るため、北中運動場・北野運動場の用地取得、航空記念公園多目的運動場人工芝化を進めていく。

評価日	H28.7.27	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林
-----	----------	--------	--------------

節	指標	単位	〈H25〉 現状値	H27年度 実績	H27年度 目標値	H28年度	将来目標 (H30)
						目標値	
第1節 生涯学習	生涯学習推進センター主催事業参加者数	人	13,988	17,642	16,000	17,000 18,000	19,000
	生涯学習推進センターの主催事業参加者の満足度	%	90	90	94	96	100
	生涯学習推進センターの施設利用者数	人	67,865	71,233	85,000	90,000	100,000
第2節 学校教育	授業がわかりやすいと思う児童・生徒の割合	%	90(H26)	84.6	現状値 以上	現状値 以上	現状値 以上
	教育センター研修会の満足度	%	72	67.0	73	74	76
	新体カテストにおける全種目の全国平均を上回る割合	%	51.4	55.6	53.4	54.4 56.0	69.3
	学校トイレの改修率	%	23	28	26	29	35
	特色ある私立学校の開校	-	推進(H26)	推進	推進	推進	開校
第3節 青少年育成	青少年の健全育成に関する施策への認知度	%	38	44	43	45	50
第4節 社会教育	市民等と協働で企画実施した事業の割合	%	53.8	55.4	56.0	57.1	59.3
	図書館の蔵書数	冊・点	892,000	936,544	926,400	904,000 940,000	912,000 948,000
	図書館の資料貸出数	冊・点	1,720,000	1,725,659	1,735,200	1,742,800	1,758,000
第5節 市民文化	芸術・文化に触れる機会への満足度	%	39.1	41.2	41.1	42.1	44.1
	ふるさと所沢に触れる機会	人	12,076	13,694	13,600	14,400	16,000
第6節 スポーツ振興	スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	850,700	852,962	850,900	851,000 867,000	851,200 872,000
	スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	49.3	48.0	51.3	52.3	54.3

※二段書きになっている目標値は、上段は第5次所沢市総合計画後期基本計画策定時のもので、下段は現在の目標値です。

第1節	生涯学習	いくつになっても気軽に学べ、学んだことを地域に活かせるまち			
基本方針	4-1-1 学習機会の充実				
	4-1-2 市民の学習と学んだことを地域に活かすための支援				
	4-1-3 学習環境の整備・充実				
	4-1-4 学習情報の収集・発信				
	4-1-5 学習資源の蓄積・活用				
関係所属	生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		562人	26.4%	32位	3位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○市民と行政が協働で企画する市民大学について受講生の学習意欲が持続しその成果が更に地域へ広がるようカリキュラムを工夫するとともに事業参加者層を拡大すべく親子参加型の講座を増やした。</p> <p>○登録講師有志と協働し「人材バンクフェア」を4月と2月に年度中計2回開催し、人材バンク制度の周知に努めた。</p> <p>○市民の要望を受け、担当各課と調整し「生涯学習まちづくり出前講座」により市政情報の提供に努めた。</p> <p>○事業参加者の満足度は、おおむね高い水準にあると考えているが、目標値には、まだ達していないため引き続き事業内容の充実を図っていく。</p> <p>○施設利用者数については3,000人の増加は達成しているが、目標値には、まだ達成していないので今後も施設の周知を図っていきたい。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○市民への生涯学習の周知を図り、地域をささえる人材育成に繋がる事業を展開していく。</p> <p>○ボランティア人材バンク制度の周知と更なる利用促進を図っていく。</p> <p>○老朽化した施設の計画的な修繕を進めていく。</p> <p>○まちづくりセンター・公民館との連携を図り、生涯学習に関する情報収集に努める。また、生涯学習情報紙等を通じて、生涯学習に関する情報を積極的に提供していく。</p>					
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林		

第2節	学校教育	子どもたちが生きる力を身に付け、一人ひとりの良さや可能性を伸ばせるまち			
基本方針	4-2-1 確かな学力と自立する力の育成				
	4-2-2 豊かな心の育成				
	4-2-3 健やかな体の育成				
	4-2-4 地域が信頼する学校づくりの推進				
	4-2-5 学校環境整備の推進				
	4-2-6 地域におけるネットワークの強化				
	4-2-7 教育環境の充実				
関係所属	教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、学校教育課、保健給食課、教育センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		666人	31.3%	23位	1位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○子どもたちの豊かな情操と道徳心を育むとともに、健やか輝き支援室・教育センター教育相談室・教育臨床研究エリア等での相談体制の充実を中心に、成長過程における悩みや不登校等の問題への対応力を高める取り組みを進めた。</p> <p>○学校指導訪問や教育センターの研修会等を通して、教師の指導力の向上に努め、地域に信頼される学校を構築し、地域の教育力を活かして学校の活性化を図った。</p> <p>○研修会の内容について「大変よかった」と「ややよかった」を合計すれば、満足度は90%以上であった。研修会の内容を、より一層参加者のニーズに対応するものにする事で「大変よかった」という満足度を高めていく必要がある。</p> <p>○学校給食を活用した食育推進事業として、「親子料理教室」等を実施した。地場産野菜使用の拡大を図ったが、納品業者からの安定供給が得られず目標を達成しなかった。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○児童生徒の学力向上に向けて、学校が主体的に授業研究など教育力を高める取組を進め、学習指導の改善を図る。</p> <p>○学校における課題研究を教育センターが支援する「学び創造プラン支援研修」を新規事業として立ち上げ、学校のニーズに合った研修会の充実を図る。</p> <p>○学校に配置する心のふれあい相談員をはじめ、心理士や学校教育相談員による相談活動を充実させて、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を進め、児童生徒の健やかな心の育成を図る。</p> <p>○「学校トイレ改修事業」における工事を小中学校7校、設計を小中学校4校で行うとともに、屋内運動場バスケットゴールの落下防止対策として、小学校11校で工事を行うなど学校環境及び安全性の向上のための整備を進める。また防音校舎改修事業として、狭山ヶ丘中学校・北中小学校にて復温・除湿工事を進める。</p> <p>○新たな地場産食材の納品業者の検討を行い、地場産使用率の向上をめざす。生きた教材である学校給食による日々の食育と、継続して取り組んでいる食育推進事業により、子どもたちに食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけさせる。</p>					
特に力を入れる事務事業	「学び創造プラン」学力向上推進事業	特色ある学校づくり支援事業	健やか輝き支援事業		
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林、学校教育部次長 堺 俊彦		

第3節	青少年育成	若者が自覚と責任を持ち、活躍ができるまち			
基本方針	4-3-1 地域・家庭・学校の連携強化				
	4-3-2 青少年へのサポート体制の整備				
	4-3-3 ニートや引きこもりの子ども・若者への支援の充実				
関係所属	青少年課、学校教育課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		618人	29.1%	26位	2位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○青少年の非行防止・不登校・ひきこもり等について、青少年問題協議会等を通じて関係団体・機関と情報共有に努めるとともに、市民に対しては警察や青少年育成団体・機関などと連携し、青少年非行・被害防止キャンペーンなどを通じて啓発活動を行った。</p> <p>○青少年育成推進員やジュニア推進員の活動を支援するとともに、青少年相談員協議会によるワンパクスクール等の活動を支援し、青少年が自然体験や社会経験などを通じて異年齢交流を図るとともに、青少年の安心・安全な居場所づくりに努めた。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○青少年の健全育成を推進するため、青少年健全育成に係る基本的な考え方及び三つ葉の提言の合理的かつ効果的な推進を図る具体的な施策について、青少年問題協議会や関係機関などで検討する。</p> <p>○青少年育成所沢市民会議をはじめとする関係機関と連携を図り、自然から学ぶ事ができる環境作り活動の推進や、スポーツを通じてルールやマナーを自ら身につける少年スポーツの基本を学ぶ活動の推進を図る。</p> <p>○ニートや引きこもりなどの課題に対応するため関係組織・機関との連携を図る。</p>					
特に力を入れる事務事業	青少年健全育成				
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	こども未来部次長 及川 利美、学校教育部次長 堺 俊彦		

第4節	社会教育	地域や市民が主体となり、それぞれの経験を活かし、世代を超えて協働できるまち			
基本方針	4-4-1 家庭・地域の教育力の向上				
	4-4-2 人権教育の推進				
	4-4-3 公民館機能の充実				
	4-4-4 図書館機能の充実				
関係所属	社会教育課、所沢図書館、教育センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		453人	21.3%	37位	6位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○市内47校の小中学校を対象に家庭教育学級を実施し、小学校区を単位とした子ども会育成活動など、家庭の学習機会の提供、青少年の様々な体験活動の充実に取り組んだ。</p> <p>○公民館では様々な学習機会を提供し、地域住民の主体的な学習、文化、スポーツ活動を支援した。市民等と協働で企画実施した事業の割合については、いくつかの公民館及び地区体育館では改修工事・修繕などで、事業が実施できない期間があり目標達成には至らなかった。</p> <p>○「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」の推進のため、学校、幼稚園、保育園、保健センター等関係機関と連携して様々な取り組みを実施し、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることに努めるとともに、広く市民に対して子どもの読書活動についての関心と理解が深められるよう啓発を図った。</p> <p>○資料貸出数がH27年度目標値に達しなかった理由とし、10月13日より11月30日まで本館が施設修繕のため休館だった事が考えられる。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○学校、家庭・地域が密に連携した家庭教育や青少年教育のより一層の充実に向けて、家庭教育学級、子ども会育成会活動の支援を図るとともに、青少年体験活動の更なる充実や新たな地域活動の広がりに取り組む。</p> <p>○人権尊重社会の実現を目指して、更なる人権講座の充実を図り、広く市民及び行政、学校関係者、社会教育関係団体に対して啓発を進めていく。性の多様性(LGBT)やヘイトスピーチなど、新たな人権課題についても講座を開催し、啓発を進めていく。</p> <p>○公民館の施設整備の充実を図るとともに、まちづくりセンターと公民館が一体となって、住みよい地域づくり、より利用しやすい施設作りの実現に向け、研修、会議等を行い課題解決に取り組んでいく。</p> <p>○多様化するあらゆる世代の市民ニーズを捉え、情報拠点の場としても役立ち、多くの方に利用して頂けるよう図書館機能の充実を図る。</p> <p>○「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づき、引き続き関係機関等と連携しながら、子どもの読書活動を推進する。</p>					
特に力を入れる事務事業	地域と連携した公民館事業		レファレンスサービスの充実を図るなど、情報拠点としての機能を拡充させる。		
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林、学校教育部次長 堺 俊彦		

第5節	市民文化	市民が「ふるさと所沢」への愛着や誇りをもって個性豊かな市民文化を育むまち			
基本方針	4-5-1 個性あふれる文化の創造				
	4-5-2 ふるさと研究を推進するための環境の整備				
	4-5-3 風土に培われた歴史と文化の伝承と発信				
関係所属	文化芸術振興課、文化財保護課、生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ（「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		486人	22.9%	35位	5位
節の基本方針への取り組み状況（前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析）					
<p>○所沢市民文化センターについて、指定管理者制度による管理運営を行った（指定管理者：（公財）所沢市文化振興事業団）。また、今後必要となる大規模改修に向けて関係部署間による調整会議を行うとともに、施設修繕計画の策定を行った。</p> <p>○文化芸術振興ビジョン策定のため、庁内検討委員会・ワーキンググループを発足させるとともに、市民アンケート、先進地視察等を行い準備を進めた。</p> <p>○生涯学習推進センターふるさと研究エリアの企画展示において、市民学芸員（市民ボランティア）が関与する企画展を開催するとともに、ふるさと研究資料の収集方針を作成した。</p> <p>○郷土史料等の保存対策プロジェクトを組織し、保存・活用について検討して報告書にまとめ、今後の指針づくり等の参考資料とした。</p> <p>○郷土の文化遺産を保護し後世に伝えるため歴史的建造物の調査を実施し情報紙を発行するとともに、伝統芸能発表会を開催した。</p>					
今後の方向性（「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容）					
<p>○所沢市民文化センターの適正な管理運営に努めるとともに、平成30年度以降予定の施設の大規模改修を計画的に進めていく。</p> <p>○市民の多様な文化芸術活動を支援し、ビジョンの策定とともに市のブランド戦略の一つである「音楽のあるまちづくり」の積極的な推進など、文化の薫り高い施策を進めていく。</p> <p>○ふるさと研究エリアの企画展や講座等の充実と、合わせて市民学芸員等の人材活用を通し「ふるさと所沢」への愛着を図る。</p> <p>○郷土の資（史）料等を後世に引き継ぐための保存施設の整備に向け、収蔵庫のあり方について検討していく。</p> <p>○文化財の保存に努めるとともに、文化財展の開催や伝統芸能の継承の支援、歴史的建造物の復元・活用について検討する。</p>					
特に力を入れる事務事業	空飛ぶ音楽祭開催事業	文化財公開活用事業	ふるさと研究活動事業		
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	市民部次長 鹿島 仁、教育総務部文化財保護担当参事 木村 立彦		

第6節	スポーツ振興	市民が手軽にスポーツを楽しみ、健康長寿になれるまち			
基本方針	4-6-1 スポーツ施設の整備・充実				
	4-6-2 スポーツ事業の充実				
	4-6-3 スポーツ指導者の充実				
	4-6-4 自主的なスポーツ・レクリエーション活動の支援				
	4-6-5 スポーツを通じた健康づくり				
関係所属	スポーツ振興課				
施策に対する市民ニーズ（「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		516人	24.3%	34位	4位
節の基本方針への取り組み状況（前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析）					
<p>○航空記念公園内の運動場を多目的人工芝運動場として整備するため、埼玉県と協議を進めた。</p> <p>○平成27年12月6日（日）、西武プリンスドームにおいて「第26回所沢シティマラソン大会」を開催した。当日の総出走人数は6,606人。</p> <p>○スポーツを楽しんでいる市民の割合が目標値に達しなかった理由に対し、小手指地区体育館の改修工事に伴う体育施設利用者数の減少が考えられる。</p> <p>○スポーツ推進委員によるスポーツ指導・普及とともに、市民を対象としたスポーツ大会や親子を中心としたスポーツ教室を開催した。</p> <p>○スポーツ推進計画策定過程時にパブリックコメントを用いて、市民の意見を積極的に計画に取り入れた。</p>					
今後の方向性（「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容）					
<p>○体育施設の整備・充実を図るため、北中運動場・北野運動場の用地取得、航空記念公園多目的運動場人工芝化を進めていく。</p> <p>○シティマラソン大会や市民体力づくり大会等を開催し、スポーツ活動を通じて人のふれあい、連携、まちづくりの役割に努める。</p> <p>○所沢健康体操（とこちゃん体操）の周知とともに、指導者の養成と充実を図る。</p> <p>○各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動の底辺を拡大していく。</p> <p>○家庭・地域・小中学校との連携を深めることで、子どもへの運動機会の提供に努め、体力向上とともに運動が好きな子どもを育むことを図る。</p>					
特に力を入れる事務事業	スポーツ施設の整備・充実	各種スポーツ大会・教室の改善	スポーツ団体の活動支援		
評価日	H28.7.27	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林		